

平成29年度第1回埼葛北地区地域自立支援協議会 議事録

日時 平成29年8月3日(木) 午前10時～午前11時20分
場所 宮代町 コミュニティセンター進修館 小ホール
出席委員 16名(赤池委員、川崎委員、上村委員、遠田委員、山縣委員、輪島委員、
小金淵委員、木村委員、佐藤委員、増田委員、大澤委員、中村委員、
岩上委員、◎小澤委員、山崎委員、橋本委員) ◎は会長
欠席委員 4名(石田委員、島村委員、高橋委員、田中委員)
事務局町首長 榎本和男 宮代町町長
事務局 3名(福祉課：渡辺課長、宮野副課長、小林主査)
出席者 行政
久喜市、幸手市、白岡市、蓮田市、宮代町、杉戸町
相談支援事業所
きらら(みぬま福祉会)、きらら(啓和会)、
たいよう(みぬま福祉会)、ふれんだむ(じりつ)、
ベルベール(大壮会)
傍聴人 1名

1 開会

2 委嘱書の交付

変更のあった委員(輪島実知子委員 増田議一委員 橋本佳典委員)へ委嘱書の交付を行う。

3 あいさつ

宮代町 榎本町長からあいさつを行う。

4 議事

(議事については、会長が議長となり進行を行う。)

議事概要

議 長	議事の1「平成29年度相談支援事業の実績について」です。はじめに事務局から説明いたしまして、そのうえで質疑の時間を設けたいと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	事務局説明
議 長	事務局からの説明のとおり、5箇所の相談支援事業所の実績の数字がでております。ご不明な点があれば質疑等をお受けいたします。
	発言なし
議 長	また、内容を確認いただいて疑問等ありましたら、後ほど、事務局にお問合せいただく取扱いとしたいと思います。それでは、議事の1については以上といたします。 続きまして、議事の2「平成29年度の取組みについて」です。まず、事務局から説明をいたしまして、その後、質疑、意見交換の時間にしたいと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	事務局説明
議 長	ありがとうございました。議事の2につきましては、いくつか分けて、質問、ご意見を受け付けたいと思います。 まず、資料4-1、資料4-2、資料5までが自立支援協議会の組織体制についての部分ですので、この部分についてのご意見、ご質問を承りたいと思います。
	発言なし
議 長	よろしいでしょうか。 それでは、資料6が平成29年度の取組みの内容になります。 1から7まで項目がありましたが、順番にかかわらず、自由にご意見、ご質問をいただきたいと思います。いかがでしょうか。
中村委員	子どもプロジェクトについてです。児童発達支援センター、放課後等デイサービスが急激に増えている中で、その専門性について国のほうも施策を考えているようですが、現時点で圏域内の課題をどのようにとらえているか、教えてもらいたいと思います。
議 長	事務局から回答でよろしいでしょうか。
事務局	現在、議論しているところでは、ご指摘のとおり通所支援事業所が非常に増えてきていることが一つの課題であり、そのなかで、支援の内容にばらつきがあるのではないかととらえているところです。まだ、詳細はつめておりませんが、地域の事業所に向けての研修などを一つの目的としているところです。 すみません。補足をさせていただきます。

議 長	補足があれば、お願いします。
支援センターきらら	現状として、協議会のなかに児童に特化した部会がありませんでしたので、まずは、各市町で抱えている課題の抽出からはじめようという段階です。 また、乳幼児期も含めた発達に関する相談も増えている状況があり、その中では、保健センター、保育所、教育機関、児童発達支援センターといった支援者と利用者がどのように関わっていたらいいのかというところもあります。 いずれにしても、現在は、課題を整理している段階です。
議 長	これからプロジェクトで課題を整理、共有を図っていくということでした。ご質問の意図は、圏域内の課題は何かということでしたが、全国的な児童発達支援センターや放課後等デイサービスの課題では、都市部は数が急増しています。事業所の数の地域差が非常に大きくなっています。この地域は、大都市圏等と類似性が高いものと思われます。 それともう一点、ガイドラインが出されています。特に、放課後デイサービスはこの四月からかなり厳しい条件が課されました。そういったところもこのプロジェクトで検討していく部分かと思えます。 よろしいでしょうか。そのほか、なにかございますか。
上村委員	放課後デイサービスはどのような内容のことをおこなっているのでしょうか。
議 長	運営をしている法人の方からの回答でよろしいでしょうか。
事務局	申し訳ございません。本日、お集まりの法人の中では、放課後等デイサービスを行っている事業者はございません。
議 長	それでは、私から、一般的な内容としてお話しします。その業務内容は非常に多岐にわたっております。療育を非常に熱心におこなっている有名なセンターもありますし、専門性の低いところもあります。この点は、厚生労働省も問題視しています。実施内容は国からガイドラインがでており、そこに書いてあります。それがスタンダードな業務内容ということになるかと思えます。よろしいでしょうか。 他にいかがでしょう。 では、私から、前回からの引き続きの問題で、もう少し詳しい説明が必要だと理解しているのが、地区別基幹相談支援センター等準備プロジェクトについてです。前回の会議で、進捗状況を報告することになっていましたので、この点はいかがでしょう。
事務局	今年度の議論の経過などについてご説明いたします。地区別準備プロジェクトは5月から月に1回ずつそれぞれ開催しています。メンバーとしましては、久喜市と啓和会と大壮会が久喜市の圏域の話し合い、それ以外の市町とじりつとみぬま福祉会が久喜市以外の埼玉北地区の話し合いを行っており

	ます。それぞれの進捗につきまして、各担当から補足をさせていただきます。
久喜市	久喜市の進捗状況についてご説明させていただきます。地区別基幹相談支援センター等準備プロジェクトと久喜市庁内で準備会を設けております。平成30年度からの久喜市の相談支援体制作りのため、現在は相談支援事業等の仕様書の検討、新たな自立支援協議会の設立に向けた検討を進めています。
幸手市	3市2町の進捗状況についてご説明させていただきます。埼玉北地区基幹相談支援センターの設立に向けて昨年度から進めてまいりましたが、久喜市が抜けることによる変更を整理し、仕様書の作成を進めているところです。基幹支援センターが受け持つ事務等について整理し事業所と細部について調整を進めている段階です。
事務局	それぞれの地域に1カ所の基幹相談支援センターを設立するために検討を進めています。また、それぞれの地域におきまして、自立支援協議会を含めた相談支援体制を整理していきたいと考えております。
議長	現在の進捗状況についてご報告いただきました。自立支援協議会については現在の体制としては今年度で終了となります。次回は年度末になりますので、協議結果について報告をしていただければと思います。 他にご質問はありますか。
中村委員	就労継続支援B型事業所利用に係るアセスメントのところで、定員が割れている継続支援B型事業所があると聞く一方で、現場実習に学生さんが来られても、本人は働きたい、ご家族も少しでも良いから働きたいという希望が多くあります。B型事業所に「行けない人」が多くなってしまうと推測してしまいます。何か情報がありましたらお願いいたします。
議長	プロジェクトでの検討内容を参考にしたいというご意見です。プロジェクトから何かありましたらお願いいたします。
支援センターきらら	特別支援学校の2・3年生に対してアセスメントを行っている中で、ご指摘のとおり、就労を希望している方が多くあります。アセスメントを実施すると、学校の中だけでは見えない課題がみえる部分があるので、アセスメント結果にそのような課題を支援できれば就労に近づくのではないかとコメントしている傾向があります。
議長	ありがとうございました。 他に何かありますか。よろしいでしょうか。それでは議事の2につきましてはこちらまでいたします。続きまして議事の3に入ります。第5期障害福祉計画についてです。まずは事務局から説明をお願いいたします。
事務局	事務局説明
議長	ありがとうございました。自立支援協議会の業務の1つとして、障害福祉計画策定に関して意見を述べるというものがあります。そういった意味でも議

	<p>事の3番は重要なものです。</p> <p>文言についてですが、第5期障害福祉計画の次に第1期障害児福祉計画も入れたほうが良いのではないのでしょうか。もう1点ですが、3(3)について、地域生活拠点ではなく、地域生活支援拠点となりますので文言の修正をお願いします。</p> <p>事務局から説明がありましたとおり、今後は各市町で第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画を策定していくこととなります。自立支援協議会といたしましても、広域の自立支援協議会に関する事項として4点ほど掲げています。各市町として実施するものと広域で実施するものがありますが、是非ご意見をいただきたいと思います。質問でも結構ですので、ご不明な点があればお願いいたします。</p>
大澤委員	<p>地域生活支援拠点等の整備についてですが、現在検討の段階だとは思いますが、この地域における地域生活支援拠点とは具体的にどのようなものを想定しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域生活支援拠点につきましては、第4期障害福祉計画の時に整備することを目標とするよう定められていました。しかし、全国的にもこの地域におきましても整備が進んでいない状況です。自立支援協議会内でも議論が進んでおりません。施設に拠点を持っていくのか、ネットワークでそういった機能を提供していくのか、まだ、検討が進んでいない状況です。</p>
議長	<p>自立支援協議会の構成市町がそれぞれ地域生活支援拠点を検討することは問題ないことと思います。ただ、広域の地域生活支援拠点を考えていくとなったときには、どこから検討していけば良いのかということはありません。久喜市とその他市町で検討していくと思います。久喜市は単独で検討していくこととなると思いますので問題ないとは思いますが、その他の市町は場合によっては広域の自立支援協議会内で検討していくこととなります。その時に誰がどのように審議していくこととなるのか難しいと思います。</p>
事務局	<p>検討の進め方につきましても未定でございます。</p>
議長	<p>どこで検討するというものが決まってくれば良いのですが。通常、市町が独自に検討していくということであれば、市町ごとに障害福祉計画の審議会等で議論を進めていけば良いものと思います。自立支援協議会内で審議していくとなると難しい問題だと感じています。</p>
事務局	<p>地域生活支援拠点は市町単独で整理することが原則です。それを踏まえて広域内でやっていくという流れになりましたら、自立支援協議会内で検討していくご提案をさせていただくこともあろうと思います。</p>
議長	<p>それぞれ構成市町でご検討いただくということよろしいのでしょうか。そのうえで、広域で検討することが望ましいという合意形成ができれば、広域で</p>

	<p>の設置という流れになろうかと思ひます。それぞれの市町でお持ち帰りいただき、検討を進めていただきたいと思ひます。市町によっては広域で設置することが望ましいという判断がなされるかもしれませんが、まずは市町で検討いただきたいと思ひます。</p> <p>地域生活支援拠点が持つ機能を市町ごとで持たせることができるかなど障害者福祉計画策定と併せて検討していただきたいと思ひます。</p> <p>児童発達支援センターにつきましても、同様の考え方で、まずは市町ごとに検討を進めていただき、広域での検討が必要となれば協議していきたくと思ひます。</p> <p>他にありますでしょうか。</p> <p>次回は年度末になり、現在の自立支援協議会としては最終回になります。課題に関しましては報告という扱いとさせていただきます。次回は既に出た結論に対しての報告を受け、承認していく形になろうかと思ひます。その間に委員の皆様は必要な情報があると判断した場合は事務局にお問い合わせしていただきたいと思ひます。</p> <p>議事の4その他について事務局から何かございましたらお願いいたします。</p>
事務局	ありません。
議長	それでは、議事につきましては以上となります。

5 その他

事務局から事務連絡を行った。

6 閉会